



平成27年3月15日
内閣府（防災担当）

山谷内閣府特命担当大臣（防災）と
マイケル・キーナン・オーストラリア連邦司法大臣との会談



昨日14日午後3時40分から約15分間、山谷内閣府特命担当大臣（防災）（第3回国連防災世界会議議長）は、マイケル・キーナン・オーストラリア連邦司法大臣と会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

1. 冒頭

山谷大臣から、東日本大震災に際し、豪州から救助隊の派遣をいただいたことに改めて謝意を表するとともに、スタディートリップ等を通じて、東日本大震災の被災地の復興の状況を見てほしい旨の発言があった。

キーナン司法大臣から、我が国と豪州は良き友人であり、両国は各種災害に悩まされているが、我が国による「防災の主流化」の取組について、その世界におけるリーダーシップに感謝する旨の発言があった。

2. 防災関係

山谷大臣から、「防災の主流化」を推進すること、「よりよい復興（Build Back Better）」を行うこと、様々な主体が防災に取り組むことの3点は、災害の未然防止、被害が発生した場合の復旧に大変重要なポイントであり、この会議における宣言の採択及びその実現に向けて努力して参りたい旨の発言があった。また、APEC「災害への備え作業部会」の閣僚級会合への格上げに向けた我が国の取組への協力を要請した。

キーナン司法大臣からは、本会議は、「防災の主流化」を実現するための素晴らしい機会であり、豪州としても協力すること、APEC「災害への備え作業部会」の閣僚級会合への格上げについても必要な支援をする旨の発言があった。また、このほか、両国は同じ価値観を共有するパートナーであり、テロ対策を含めた幅広い分野での協力・支援をしていく旨の発言があった。

<本件問合せ先>

内閣府（防災担当）現地窓口 馬場、中島

TEL : 022-713-8716